

ウォールシェルフ

MKKP - (96 ~ 306) - 50(60)TB

取扱説明書・据付工事説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又永くお使いください。

取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要な時にお読みください。

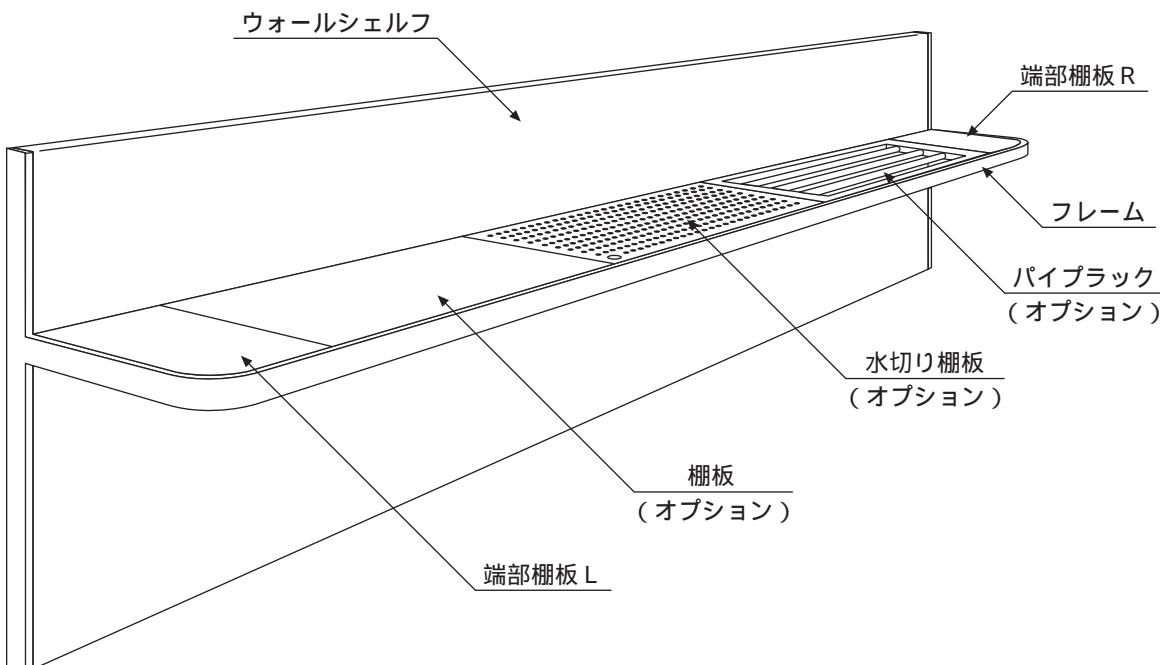
もくじ

取扱説明書

- ・安全上の注意 1
- ・ご使用に際して / お手入れ方法 1 ~ 2
- ・ご相談窓口におけるお客様の 3
- 個人情報のお取扱いについて /
 アフターサービスについて

据付工事説明書

- ・安全上のご注意 4 ~ 5
- ・取付用壁下地材位置 5
- ・据付方法 6 ~ 8



取扱説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

取扱いについて

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結び付くものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で説明しています。



この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



パーツの取付けは確実に行ってください。

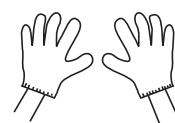


落下して、ケガをする恐れがあります。

お手入れの際は、必ず手袋を着用してください。



手袋着用



鋼板の切り口や角で手を切る恐れがあります。

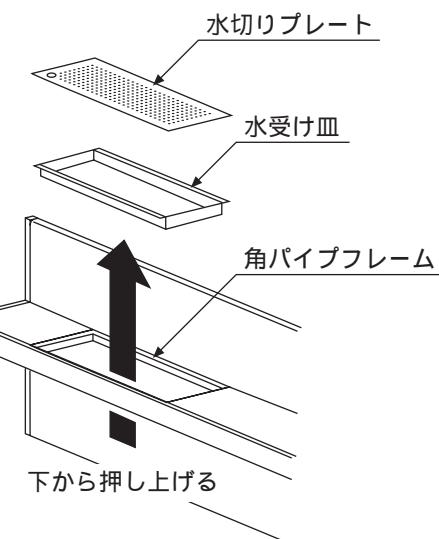
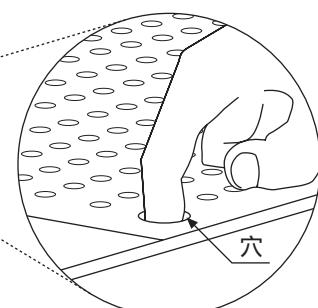
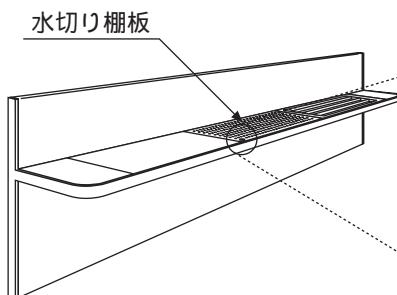
ご使用に際して

パーツの取り外し方

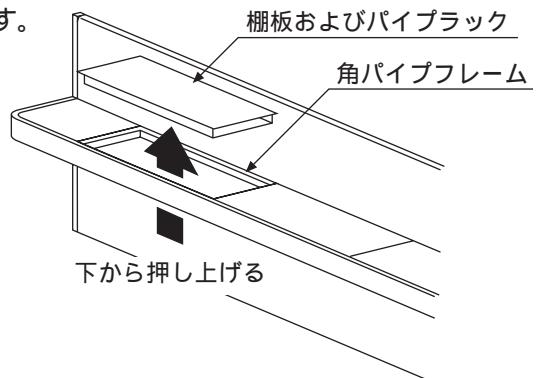
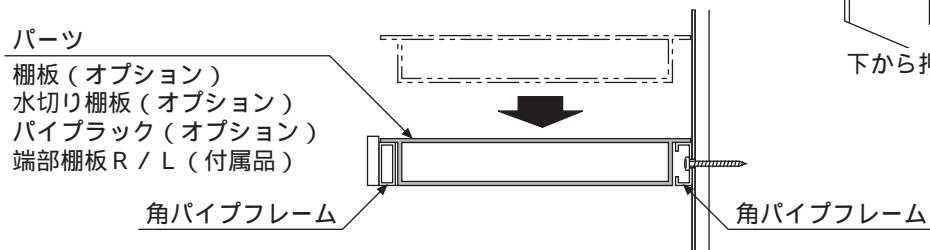
水切り棚板の場合、水切りプレートの隅に開いている穴に指を引っ掛け、持ち上げて取り外します。

水受け皿は下から押し上げて、取り外します。

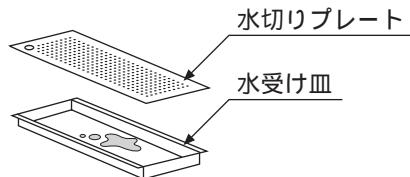
取付ける場合は、角パイプフレームにしっかりとせてください。



水切り棚板以外のパーツの場合、下から押し上げて、取り外します。
取付ける場合は、角パイプフレームにしっかりとせてください。



水切り棚板をご使用の際に、水受け皿に水が溜まつたら
捨て、常に清潔な状態を保ってください。



安心して使える重さのめやす（耐荷重）

5kg ... 直径20cmのお皿15枚程度を目安にしてください。
均等に物を載せた場合の耐荷重です。

端部棚板 R / L (付属品) 5kg
パイプラック (オプション) 5kg

棚板 (オプション) 10kg
水切り棚板 (オプション) 10kg

お手入れ方法

いつまでも美しくご使用していただくために、月に1回程度お掃除をしてください。

(1) お手入れのときのご注意

必ず柔らかい布又はスポンジをご使用ください。

キズが付く恐れがあります。

化学ぞうきんをご使用の場合には、その注意書きに従ってください。

ウォールシェルフに直接水等をかけないでください。

カビ等の原因になります。

シンナー・ベンジン等の溶剤や、ミガキ粉・アルカリ性洗剤等は使用しないでください。

変色やキズが付く恐れがあります。

(2) お掃除のしかた

中性洗剤を浸してよく絞った布で拭いた後に、水拭きをし、最後に乾いた柔らかい布でから拭きしてください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名・住所等の個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取扱いします。

1. 弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認等に利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。

なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

2. 弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

アフターサービスについて

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、工事店・販売店、又は弊社ユーザーサポートセンターにお問い合わせください。

ご連絡して頂きたい内容

- ・ご氏名
- ・ご住所
- ・電話番号
- ・お買い上げ日
- ・異常の内容
- ・品番

製品の保証期間はお買い上げ後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。

据付工事説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

据付工事完了後、説明書の内容に従って各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

この「取扱説明書・据付工事説明書」は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。



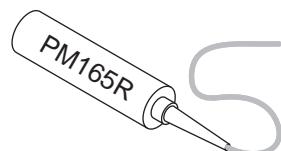
据付けは、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



落下して、ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

必ず指定の接着剤を使用してください。



指定外の接着剤を使用しますとウォールシェルフが落下して、ケガや火災の恐れがあります。

《指定接着剤》：エポキシ系弾性接着剤
P9WP - PM165R（別途購入）

降雨・降雪時の据付けは避けてください。



下地が濡れますと接着力が低下しますので、必ず乾燥させてから据付けてください。
接着不良でハク離し、落下して、ケガをする恐れがあります。

接着剤が皮膚等に付着した時は、すぐに石けんでよく洗い流してください。

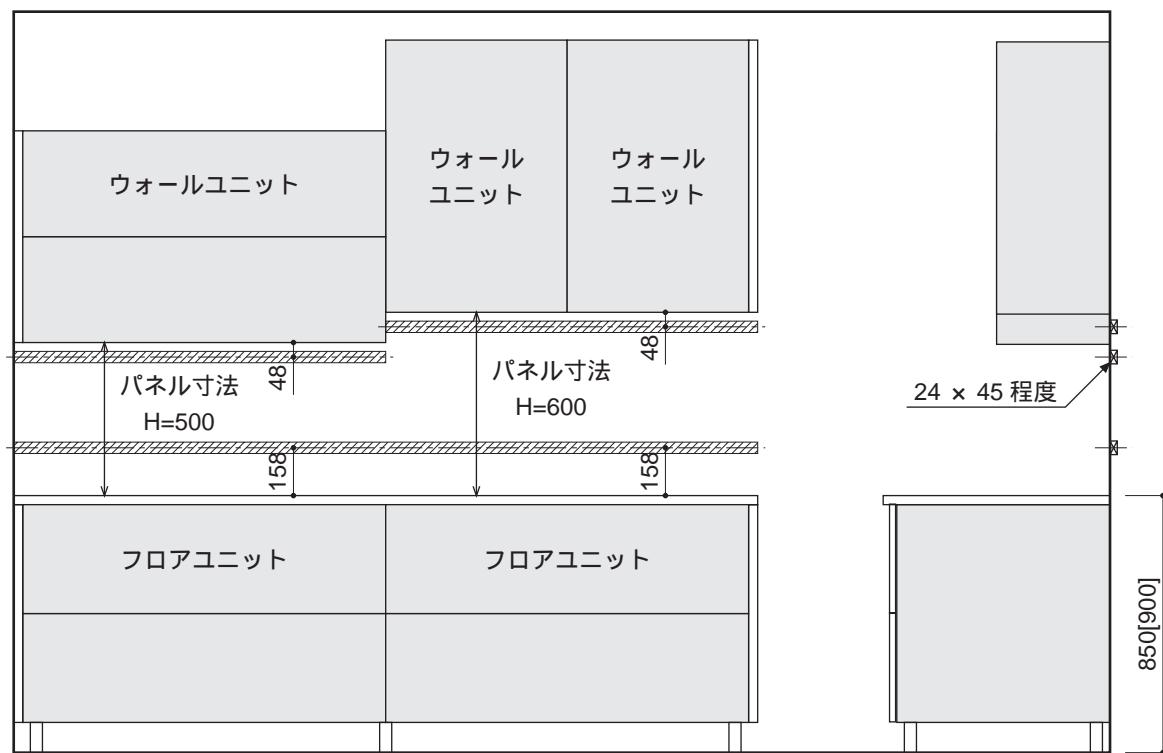


炎症を起こす恐れがあります。

取付用壁下地材位置

あらかじめウォールシェルフを取付ける壁面は仕上げますが、下図の位置に下地材が入るようにしてください。
横脛縁には 24×45 程度のものを使用してください。

[] 内寸法は、A F 仕様【H = 150】の場合を示す。

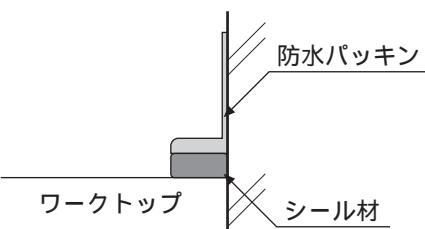


据付方法 1

1. 防水パッキン、シール材の取付け

- 防水パッキンに付いているシール材のハク離紙をめくり、ウォールシェルフの側面位置より5mm内側に入る位置で防水パッキンの背面を壁に付けながら、ワークトップ上面に貼ります。(図1)

図1



2. 下地の取付け

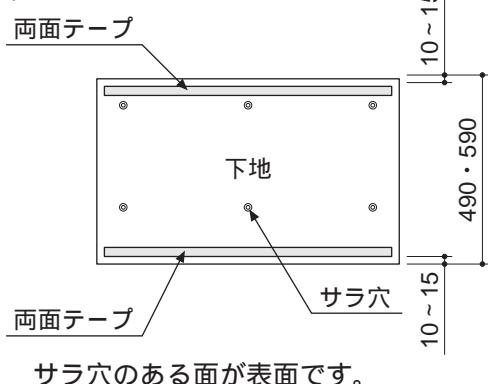
(1) 下地の乾燥と清掃の確認

- ゴミ等の付着物は除去し、水分は十分に乾燥させてから使用してください。
- あらかじめ取付桿 24×45 以上のものが壁の下地に入っているかを確認してください。

(2) 両面テープの貼り付け

- 下地表面に、強力な両面テープを使用して右図の位置に貼り付けてください。(図2)
両面テープ(幅10~20mm・厚み1mm以下)
両面テープ表面のハク離紙はめくらないでください。

図2



(3) 下地の取付け

- 下地を下図の位置に付属の④サラタッピンネジ 3.5×35 にて壁面にしっかりと取付けてください。(図4)
下地を壁面に取付ける際に、シール材をつぶし、防水パッキンのL部分の上端がワークトップより3mmとなるように取付けてください。(図3)
ウォールシェルフが1860mm以上の場合は、下地が2分割しますので、取付ける際は、下地同士の目地は0mmとしてください。

図3

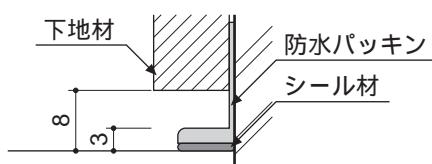
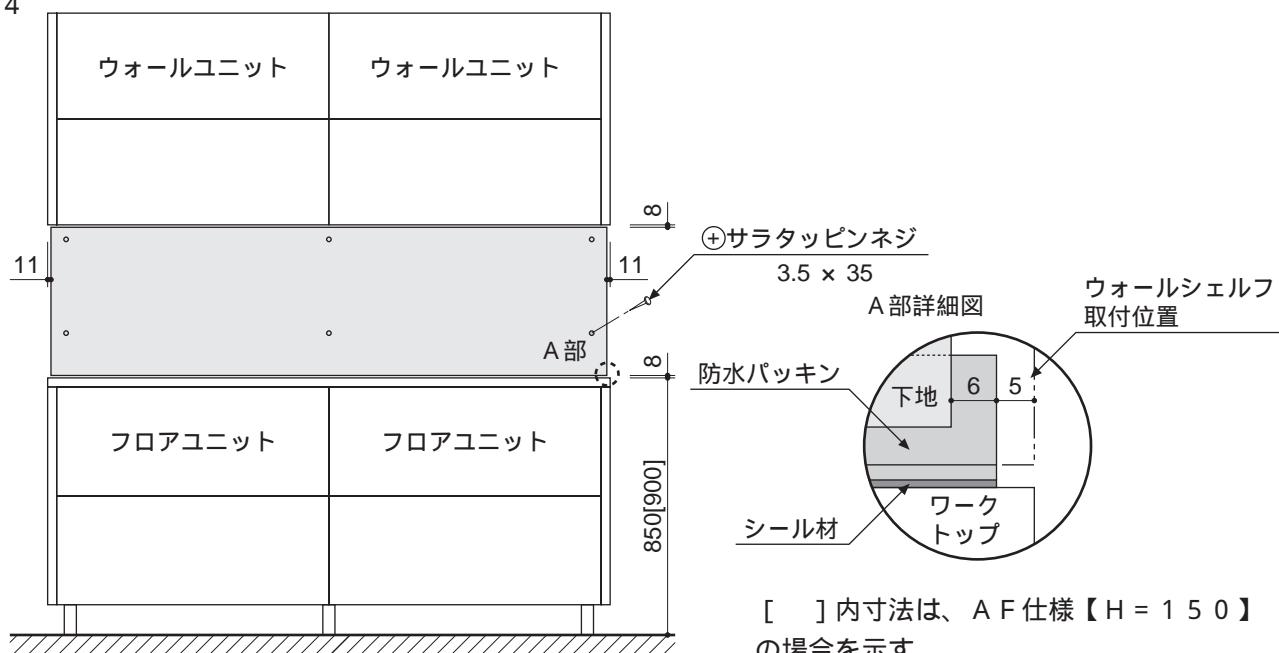


図4



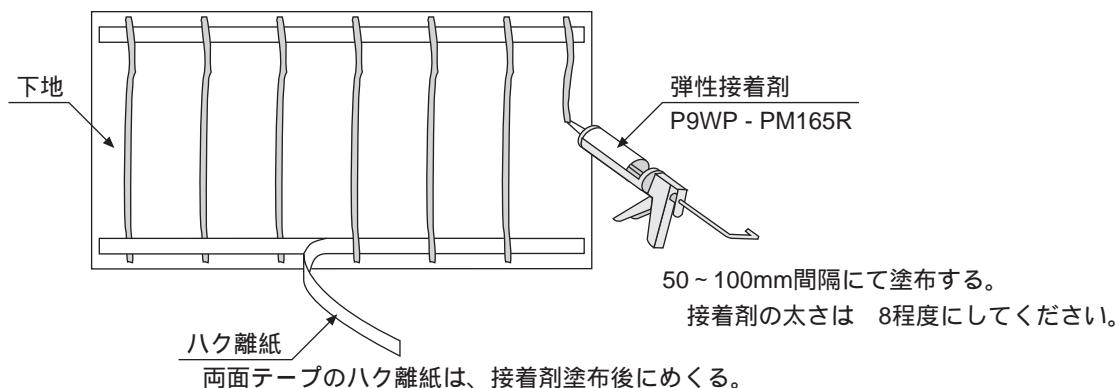
据付方法 2

3. ウォールシェルフの取付け

(1) 接着剤の塗布

- 下地に接着剤を塗布し、両面テープのハク離紙をめくってください。(図5)
- 《指定接着剤》：エポキシ系弹性接着剤 P9WP - PM165R (別途購入)

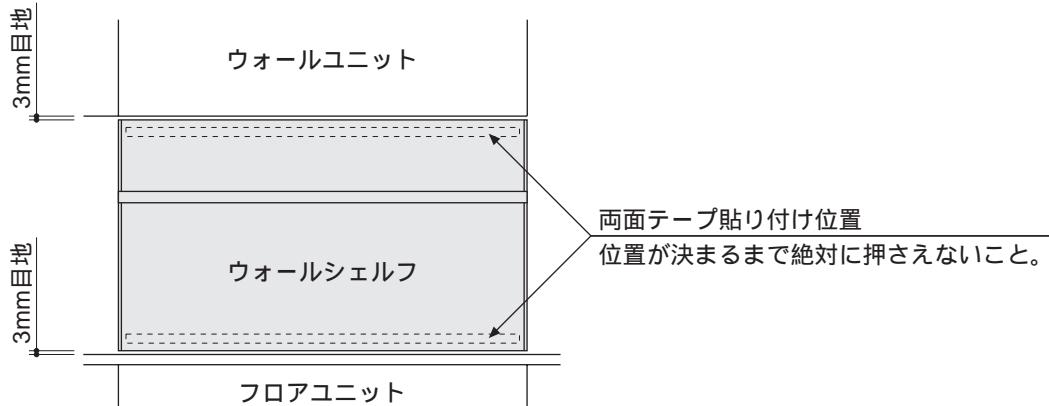
図5



(2) ウォールシェルフの取付け

- ウォールシェルフを仮に貼り合わせて位置を決めてください。(図6)
- 位置が完全に決まるまでは、両面テープ貼り付け位置を絶対に押さえないでください。
- 接着剤は速硬化性のため、塗布した後10分以内に位置決め作業を終了してください。

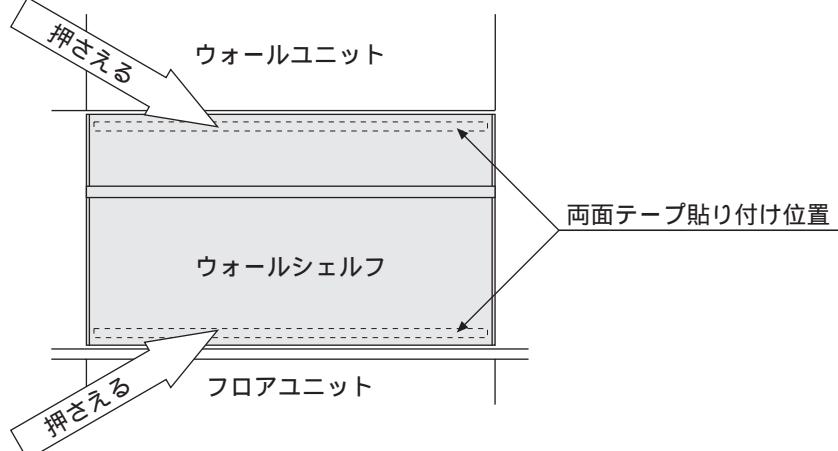
図6



(3) ウォールシェルフの貼り付け

- 位置が決まりましたら両面テープ貼り付け位置を上から押さえ、ウォールシェルフを固定します。
- その後、ゴムローラー等を使用して、よく密着するように均等に圧着してください。(図7)

図7

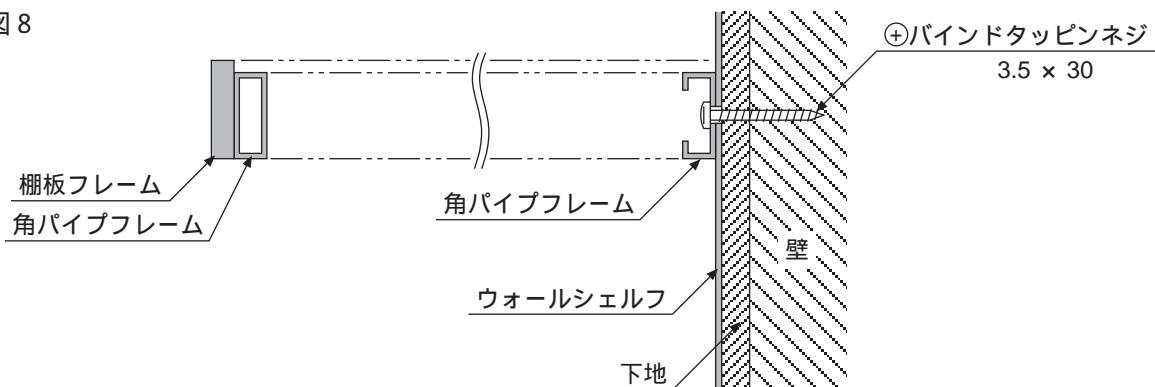


据付方法 3

4. 棚板部のネジ固定

- ウォールシェルフを角パイプフレームのネジ穴から^①バインドタッピンネジ 3.5×30 にて壁面に固定してください。(図8)

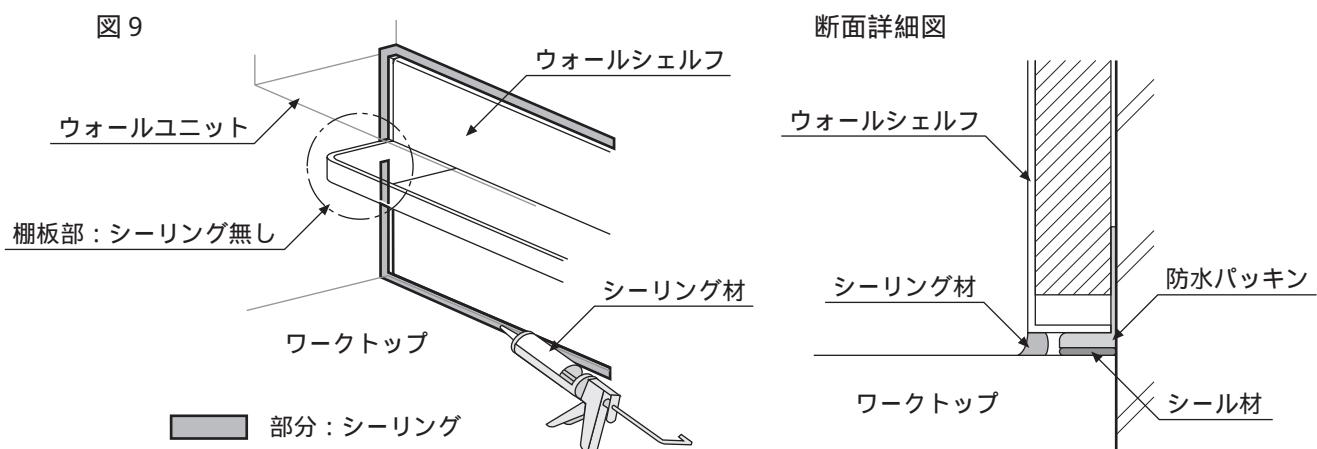
図8



5. シーリング

- ウォールシェルフの四方の目地をシリコン系シーリング材にてシーリングしてください。
- 棚板部はシーリングしないでください。(図9)
- シリコン系シーリング材：防カビタイプ クリアー（別途購入）
- シリコン系シーリング材の使用方法については、付属の説明書に従ってください。

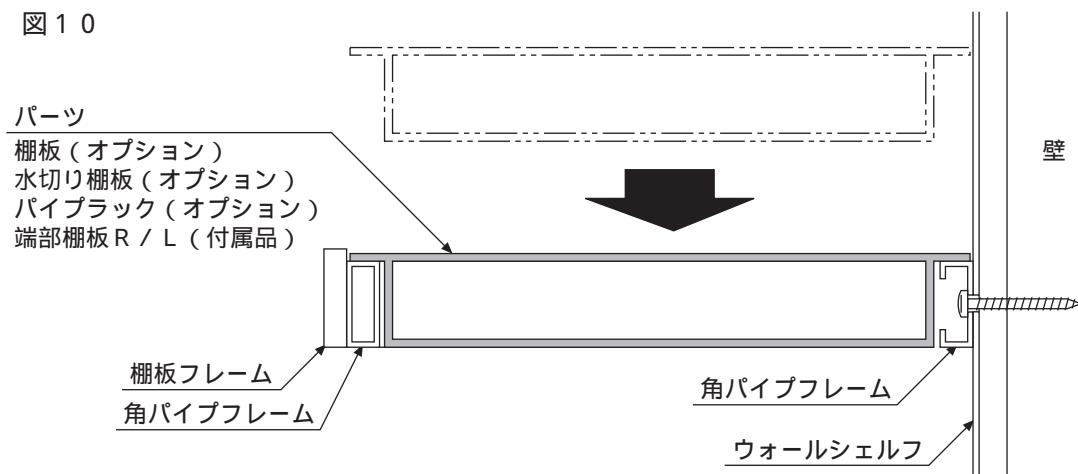
図9



6. パーツの取付け（オプションも含む）

- 棚板（オプション） 水切り棚板（オプション） パイプラック（オプション） 端部棚板R / L（付属品）を上から落とし込み、角パイプフレームにのせてください。(図10)

図10



MEMO

MEMO

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。



TOYO KITCHEN
<http://www.toyokitchen.co.jp>

トヨーキッチン＆リビング株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山 6-4-10

ユーザーサポートセンター 東京・南青山

お問い合わせFAX 03-3406-0750 info@toyo1.toyokitchen.co.jp

東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040

福岡 092-729-1040 金沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111

P9WP-TRS135

05.4